

マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
093-321-2931(担当;上野)

第 121 号 平成 27 年 12 月

海釣りを楽しむ方の海中転落事故が多発しています。

これから、海釣りを楽しむ予定のある方は、是非、一読のうえ、お出掛けください。

海中転落事故 多発！！

11月中旬から12月初旬にかけて、七管区内では6名の釣り人が海中転落しています。

このうち、数例をご紹介します。

生存するためのキーワードは、右図内の3つの項目を御参照ください。

下記の例は、右図内3つの項目を守ったことにより、無事に救助された事案ですが、中には飲酒後に海中転落した方も含まれます。

海で命を守る

3つのポイント

○ライフジャケットの常時着用

○連絡手段の確保

・ 防水携帯電話の携行！

新規

通報位置特定のため、

通報時にGPS(位置情報)をON！

○海のもしもは「118番」



未来に残そう 青い海
海上保安庁第七管区海上保安本部

飲酒後は、自分が思っているより足元がフラつくこともありますので、十分に御注意ください。

- 1 防波堤から海中転落(1名) **ライフジャケット着用**、**飲酒あり**、70歳代
防波堤から遊漁船に移乗しようとしたところ、誤って足を滑らせて海中転落したものの、付近に偶然居合わせた数名により救助された。病院に搬送され、頭部挫創及び胸部骨折と診断されたが、人命に異常は無かった。
- 2 磯場・瀬から海中転落(2名)
 - (1) **ライフジャケット着用**、**飲酒あり**、60歳代
瀬渡船で渡った瀬で釣りを終え、片付けを実施していたところ、誤って足を滑らせ、海中転落して沖に流されたもの。
着用していたライフジャケットの浮力で沖に流されて浮かんでいたところ、同行していた友人の電話連絡により急いで戻ってきた瀬渡船で救助された。
病院に搬送され、頭部挫創、肺への海水混入、低体温症と診断されたが、人命に異常は無かった。
 - (2) **ライフジャケット着用**、**飲酒なし**、30歳代
仲間3名と磯釣中に、**高波(次頁参照)**に足元をさらわれ、海中転落したものの、それを見た仲間は直ちに、ルアーを使って救助を試みたが、保持に失敗したことから、海上保安庁へ「118番」通報した。海中転落者は、着用していたライフジャケットの浮力で沖に浮かんでいたところ、当庁から救助要請を受けて出港した漁船によって救助された。病院に搬送され、低体温症と診断されたが、人命に異常は無かった。
- 3 船から岸壁へ移動中に海中転落(1名) **ライフジャケット着用**、**飲酒あり**、50歳代
釣りを終えて、ライフジャケットを着用したまま、船(プレジャーボート)から岸壁へ移動していたところ、手に掴んでいた係留ロープから手を滑らせ、海中転落したものの、着用していたライフジャケットの浮力で浮いたまま大声で救助を求めていたところ、付近にある駐在所内で勤務していた警察官の耳にその声が聞こえ、駆けつけた警察官により救助された。病院に搬送され、低体温症と診断されたが、人命に異常は無かった。

バックナンバー

http://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anzen_report/

「高波」、「潮位の違い」に注意！！

高波に注意！

水深の浅い海岸の防波堤、磯、浜辺では、沖合から来た波が急激に**高波**になることがあります。その高さは、有義波高(*)の2倍となることがあります。

磯釣りなど楽しむ場合は、特に**突発的な大波が現れることを予想**して、安全な場所で行いましょう。

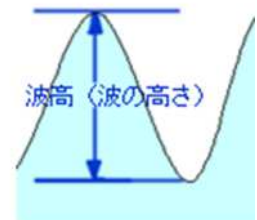
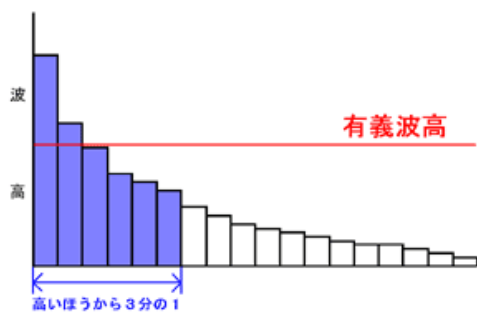
対処法

- ・釣りを始める前に釣りポイントから離れた場所より波の様子を観察し、どの辺りまでが安全かを確認してから開始する。
- ・磯場が濡れた場所には、波が来る可能性が高いことからそのような場所には、近づかない。
- ・釣り中は、なるべく波に背を向けず、波の様子が常に視界に入るようし、突発的な波を警戒しておく。

波の高さとは？

一般に波の高さと言った場合は有義波高を指し、気象庁が天気予報等で予報される波の高さは有義波高としての値です。

波高の高い方から順に全体の1/3の個数の波を選び、これらの波高を平均したものが有義波高です。



統計学的には、10波に1波は有義波高の1.3倍、100波に1波は1.6倍、そして...
1000波に1波は2倍となります！！

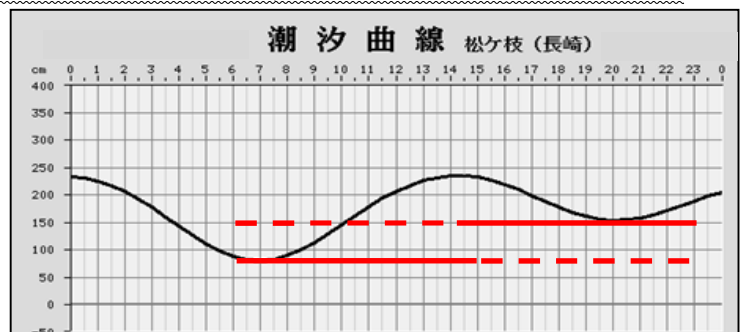
潮位の違いに注意！

1日2回訪れる干潮(満潮)は、同一の日でも必ずしも同じ高さではありません。これを、「日潮不等」といいます。

午前の干潮時には、歩いて渡れた浅瀬だったとしても、午後の干潮時にも同じだけ潮が下がるとは限りません。

対処法

- ・釣りをする当日の潮汐を確認しておく。
- ・釣りポイントを決める際は、行きだけではなく帰りも安全であるかを考慮して決めること。



～ 潮汐推算サイト(海上保安庁海洋情報部) ～

< http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TIDE/tide_pred/3.htm >

問い合わせ先:

第七管区海上保安本部海洋情報部 海の相談室

【電話 093-331-2931 (内線2511)】

